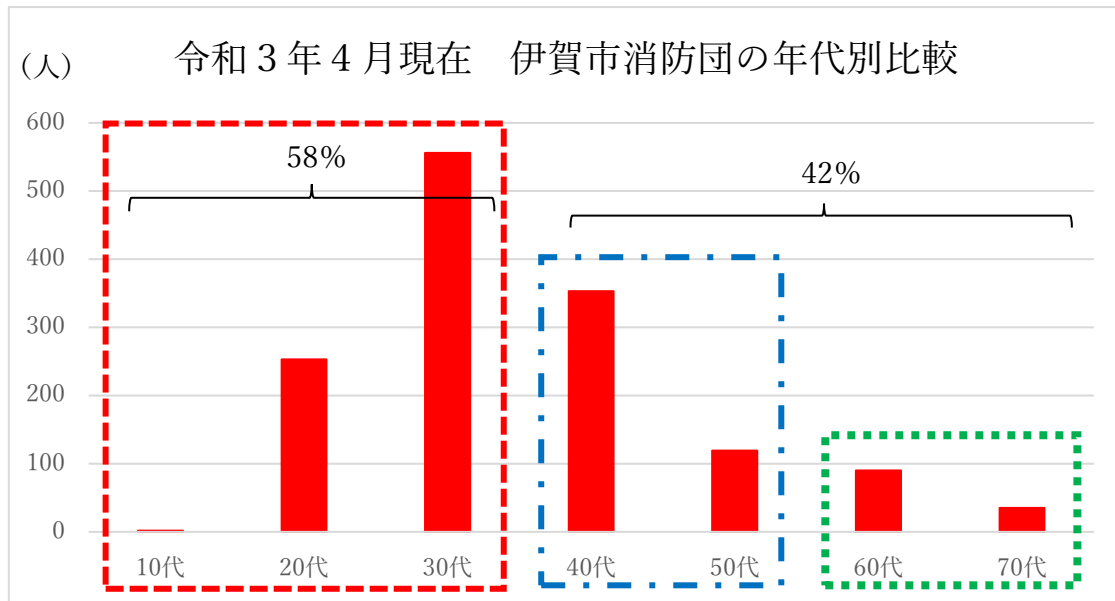
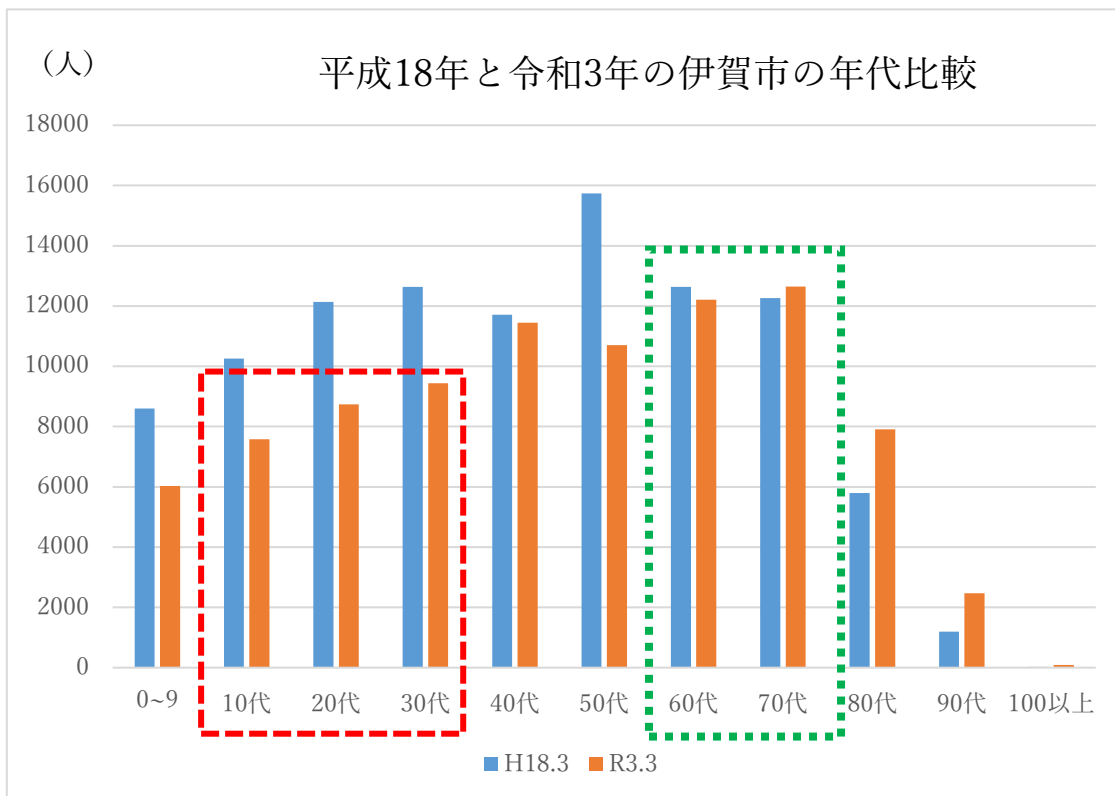




『年代の新旧交代 ⇒ 活性化』

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	実員
人数	2	253	556	353	119	90	35	1408
割合	0.1%	18%	39.5%	25%	8.5%	6.4%	2.5%	100%



	0~9	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100以上	合計
H18.3	8599	10255	12137	12641	11717	15740	12638	12262	5800	1194	22	103005
R3.3	6026	7578	8738	9441	11449	10699	12214	12649	7909	2470	89	89262
比較	70.1%	73.9%	72.0%	74.7%	97.7%	68.0%	96.6%	103.2%	136.4%	206.9%	404.5%	86.7%

概要

【伊賀市消防団の年代別比較より】

- 令和3年4月現在、30代までが811人で全体の約58%
- 40代以上が597人で約42%

【平成18年と令和3の伊賀市の年代比較より】

- 30代までの年代では、約70%に減少しているほか、40代では大きな減少は見られないものの、50代では68%に減少している。一転して、70代からは増加傾向にあり、特に90代からは大きく増加している。

考察

- 入団適齢期の20代から30代は70%台に減少し、さらに今後の人材となる10代以下も同様の70%台となっており、将来的にさらに新入団員の確保が困難となることが予想される。
- 60代、70代は、大きな減少が見られないことから今後の消防団員以外の地域住民による防災活動組織の充実によって地域全体の防災力を強化することが可能（自助・共助）